

●天国への手紙 23年5月6日分

【ラジオネーム】朝昼兼用

【天国への手紙】日本一周

人生で一番の友人を失うというのは、本当にさみしいものです。自分の一部が無くなってしまったような気持ちです。

お前とは小学校の高学年で出会って、高校からは別々の人生を歩んだけど、それでも無理やり時間を作っては、一緒にコンサートに行ったり、野球観戦に行ったり、朝まで飲み明かしたり、とにかく楽しい思い出しかない。

そんな中でも最高に楽しかったのが、20代の前半の時、俺の車で一緒に日本半周の旅をしたときだ。

あのときはお前が大学生で、俺は仕事を辞めたばかりで、お互いに時間があつたから。

こういうときは普通、日本を1周するものなんだろうけど、お金が厳しかった俺たちは、「とりあえず半周にしておこう」と、変な妥協をして出発。宿泊の半分は車中泊、宿に泊まるときは素泊まり、食事は朝昼兼用にして1日2回の、とにかく貧乏旅。

しかもあの時のお前はペーパードライバーだったから、ほとんど俺が運転して、何力所か、お前が運転を変わってくれたことがあつたけど、正直、横に乗っていて、生きた心地がしなかったよ。

「残りの半周は定年になったら回ろう」なんて、酒を飲むたびに話していたけど、その定年を前に、

お前はいなくなってしまうた。今度はやんと交代交代で運転ができるな、温泉旅館にも泊まれそうだな、と楽しみにしていたんだけどな。

仕方がないから、一人で行くことにするよ。

あのとき、旅先で2人で撮った写真を持って。

(リクエスト)

あの頃に発売された曲で、旅の間、カーラジオから何度も流れてきた曲です。

「真夏の果実／サザンオールスターズ」